ぜんせき
THE ZENSEKI

第7713号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円　組合員外 月1,944円（消費税込）

7月31日（月曜日）2017年（平成29年）

発行所
全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp

昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

論説

「住民拠点SS」の本旨

自然災害が続発している。震度5強規模の地震が続き不安感が高まっていたところへ、今度は九州から東北にかけて、記録的な豪雨が襲った。SS業界でも、福岡や秋田では浸水・水没によって営業不能に陥るSSが複数報告された。

一方、こうした自然災害に伴ってたびたび発生し、SSの営業に最も直接的な影響を及ぼしてきたのが停電だ。福岡や秋田でも豪雨の影響から、広範囲で停電が発生している。

7月の全国の停電状況を見ると、毎日必ずどこかで停電が発生していたことがわかる。数十軒単位の小規模なものから1万軒を超える大規模なものまで、復旧に要した時間も数分から6時間超まで、態様は様々だ。原因も落雷、風・水害、山崩れ、樹木の接触などの自然災害によるものから、設備の故障、作業中のミスまで多岐に及ぶ。原因不明のままのケースが多数あることも目を引く。

これに対して石油販売業界では、本紙でもたびたび報じてきたように、自家発電機を稼働させて営業を継続し、地域住民の生活を支えたケースが各地で報告されている。大規模災害発生時にSSが地域社会にとっての〝最後の砦〟となり得ることを、明確に証明してきた。

ところがこうした中で、いざという時のために自家発電機を導入し、緊急用車両だけでなく地域住民への給油にも時差なく対応しようという目的から今後4年間での整備が打ち出された国の補助事業「住民拠点SS」について、交付申請件数が伸び悩んでいる現状が明らかになった。期日間際に申請が集中すると、手続きや設置工事の遅れから補助事業を完了できないケースが危惧されるという。

国は、熊本地震において自家発電機を備えたSSが多方面にわたって活躍したことから、大規模災害発生時におけるSSの存在価値を高く評価し、「住民拠点SS」の整備を災害対応の重要な柱と位置付けて、10／10補助を決めた。

それだけに、ここへきて「住民拠点SS」の整備に遅れや地域的なばらつきが生じるなど、期待された役割が果たせないとなると、国の施策に支障が生じるだけでなく、SS業界への信頼感が揺らぐことにもつながりかねない。事情は諸々想定されるが、事業の本旨を思い起こし、まずは当初の方針通り、「住民拠点SS」へ向けて歩みを進めていただきたい。

品質管理・分析事業委が会合

制度のあるべき姿検討

石油協会

全国石油協会・品質管理委員会（松村俊一委員長）と分析事業委員会（鷹觜利公委員長）は24日、合同会合を開催した。先ごろ発表された石油精製・流通研究会の最終報告書では、石油製品の品質管理に関し「消費者に多大な影響を与えるおそれのある違反事案は、必要に応じて事業者名を公表することを含め、制度のあり方を検討すべき」と指摘されたことを受け、品質管理のあり方について議論を始めることを決め、早速、意見交換などを行った。また、今年度第1四半期の試買分析と受託分析の実績も報告した。

冒頭あいさつで松村委員長は、九州豪雨による被災に対しお見舞いを述べたうえで、「これからは異常気象が当たり前になったという認識で防災に取り組まないとならない」と指摘。また「品質管理に関して議論を始める。あるべき制度の姿をしっかり検討したい」と意欲を示した。

会合では、経済産業省が先ごろ公表した品確法に基づく立入検査の実施状況および主要違反事例を説明。これを受け出席者から、コンタミ事故防止を目的に全石連が石油連盟、全日本トラック協会と行っている荷卸し時の安全対策統一キャンペーンや今回公表された違反事例などについて、SS現場にもっと周知徹底させていく必要性が指摘された。さらに、試買分析の結果、ガソリンが給油ホースに滞ることに起因した硫黄分の不適合事例が多発していることから、適正な対応策についても検討することを決めた。

品質管理のあり方に関する議論では今回、米国、英国、韓国における燃料品質確保プログラムなども検証。各国の共通要素として「上流での試験と下流の品質チェック」が必要とされていることや、いずれの国でも違法に対する罰則があることなどが確認された。

SS経営革新部会

有益な新ビジネスモデルを策定へ

第2回ワークショップ開催

家庭菜園品販売・油外サービス予約システム　事業化を議論

全国の7割を占める中小SS事業者にとって有益な新ビジネスモデルを策定することを今年度活動の骨子に掲げる全石連SS経営革新部会（出光泰典部会長）は25日、第2回目のワークショップ（体験型講座・勉強会）を開催した。

2組が約5時間、事業化を検討した（写真は検討後の報告会）

ワークショップは野村総合研究所と組んで新たな事業化アイデアの検討を具体的に進めるため設置したもの。今回は部会委員を2チームに分けて、①地域特性を活かしたSSの地域コミュニティー拠点化＝家庭菜園品（地域物産品）の販売②IT活用によるSSの地域住民サービスの高度化＝油外サービス（SS内外）の予約システムという2つのテーマについて事業化に向けた議論をした。

今回のワークショップには事業化の実効性を高める目的で専門アドバイザーを招き、①家庭菜園品販売のテーマには小島希世子氏（えと菜園代表取締役）、②油外サービス予約システムには竹田邦弘氏（リクルートライフスタイル・エヴァンジェリスト）が参加。

議論では、事業の意義・概要、顧客像・潜在ニーズ、SSらしさ・独自性、事業収支、事業主体などの各項目について詳細に意見交換し、ビジネスモデルの構築を進めた。また、ワークショップの内容については11月開催の同部会で報告する予定。

なお、アドバイザーの紹介は次の通り。

◇　◇

小島氏＝農薬を極力使用しない農家ネットワーク、新しく農業に従事したい事業者のための参入支援、独自販路の開拓など行う会社を設立。就農支援プログラムで『横浜ビジネスグランプリ2011ソーシャル部門最優秀賞』受賞

竹田氏＝リクルートで営業マネージャーを経験後、旅行業界のネット予約システム導入支援や地域活性事業のプロデュースを主導。ホットペッパーグルメリサーチセンターを立ち上げ、初代センター長に就任。

ぜんせきwebアンケート

8月テーマ「カードセキュリティ」

「ぜんせきweb」では、あす1日より8月アンケートを開始します。終了は16日です。月次テーマは「クレジットカードのセキュリティ対策強化」について。改正割賦販売法施行を知っているか否か、クレジットカードのセキュリティ対策強化に伴う高額な設備投資にどう対処するかなどについてお聞きします。定例の「SS業況アンケート」は、昨年度から新たに系列仕切価格と業転価格についてお聞きしています。

ひとりでも多くの方にご回答いただくことで、集計結果の信頼性がより高まりますので、ぜひともご協力ください。

回答者の中から抽選で5社に、共同事業取扱商品「『ムートンモップ』グローブタイプ3個」（写真）を、好評につき7月に続いてプレゼント。グローブタイプなので手洗い洗車に最適です。天然ムートンでやさしく洗車でき、アンテナ、エアロパーツなど細部の洗浄にも最適です。

石油協会

財産処分制限期間を改定

〝自家発〟8年に見直し

全国石油協会は、住民拠点SS整備補助事業を利用してSSに設置した自家発電設備について、これまで設置後15年間を財産処分制限期間としていたが、このほど、財産処分制限期間を見直し8年間とすることとした。

この改定によって、補助金を活用し自家発を導入した石油販売業者は、自家発設置後8年間、申請手引書に記載の財産管理を行う義務が生じることとなり、適切に管理・運用していくことが必要になってくる。

第1回・第2回無担保社債発行

JXTGHD

JXTGホールディングスは28日、第1回および第2回無担保社債の発行を決定したと発表した。社債総額はいずれも100億円、各社債の金額は1億円。

利率と償還期日はそれぞれ第1回が0・140%、2022年8月3日、第2回が0・405%、27年8月3日。申込期間は28日で、払込期日は8月3日。

木村会長

統合効果に期待

エネ税制の公平性言及も

石連会見

石油連盟の木村康会長は26日の定例記者会見で、4月のJXTGホールディングス誕生後の需給動向について、「経営統合を踏まえ、透明性・公平性の確保に努め、それをメッセージとして発し続けてきた。その結果として業界の秩序が安定化の方向に向かってくれればと考えている」と強調。そのうえで「石油業界は社会的な存在であり、きちんと評価される業界でなければならない。経済性・効率性を追求するとともに、経営統合によるシナジー効果を発揮させ、消費者利益にかなう取り組みを進めていかなければならない」と述べた。

欧州や中国をはじめとしたEV推進の動きについて、「どれくらいで進んでいくのか、時間軸が問題になってくるだろうが、この動きをよく見極めて注視していく」と指摘。「流通業界に対しても様々な商材を提供していく立場であり、今後の流通業界の絵姿についても積極的に検討し、提案していかなければならない。生き残りや新たなビジネスモデルを確立していくことも大きなテーマになってくるだろう」と述べた。一方で、「忘れてはならないのは、税制におけるエネルギー間の公平性の確保である。一定規模までの先行導入に対するインセンティブについてはある程度理解するが、これが一定のレベル・段階に達した場合には、エネルギー間の公平性を確保する必要がある」と訴えた。

原油コスト0.3円値上がり

今週の卸価格に影響する中東産原油の円建て週間コストは、前週比バッ0・3円上昇した。2週連続の値上がりで、累計0・8円高。ただ週末に向かう中、中東産原油は続伸しバッ50ドルに迫る強含みの動きをみせている。28日の東商取プラッツ・ドバイ原油はドル建てで前日比0・20ドル高の49・79ドル、円建ても0・2円高のバッ34・8円と上昇した。

一方、先週の国内のガソリン陸上スポットはじり安。2次基地から安値玉が出始める中、原油は続伸しており、今週の値動きが微妙な様相。7月5週のJXTG、出光、コスモの大手3元売の卸改定も0・5円値下げ。TOCOM陸上スポットは前日比0・2円高の103・8円。

◇　◇

特約店筋によると、コスモ先行は28日から前週比でガソリン0・5円値下げ、灯油、軽油は据え置き。

7月上旬原油CIF35円弱

財務省

財務省が28日発表した7月上旬原油CIF価格はドル建てが前月比2・81ドル安のバレル49・44ドルと、7ヵ月ぶりに50ドルを下回った。円建ては原油価格が下落したことに加え、為替がドル111・33円と円高で推移したため、2113円安のキロリッ3万4620円と4ヵ月連続で前月を下回った。（2面にデータ）

週仕切り指標のコスト変動と推計値（＊原油＝価格適用期間のFOB平均値）　（円／L）

適用期間	原油	ガソリン			灯油		軽油		A重油
土～金曜		指標	系列卸	TOCOM	指標	TOCOM	指標	TOCOM	指標
7／1週	0.80	0.6	▲0.5	1.7	0.7	2.0	0.5	0.0	0.2
2週	1.72	0.9	1.0	0.6	1.2	0.7	1.0	0.0	1.1
3週	▲0.72	0.1	1.0	▲0.2	0.0	0.3	0.0	0.0	▲0.0
4週	0.56	▲0.3	0.0	▲0.8	0.1	▲0.9	▲0.2	0.0	▲0.1
前週実勢値	33.93	103.3	102.8	102.6	47.2	47.3	47.8	48.0	47.0
前週標準仕切り推計	---	109.1	107.9	105.1	53.0	49.8	53.6	50.5	52.8
8／1週	0.26	▲0.3	▲0.5	0.7	0.1	0.6	▲0.2	0.0	▲0.2
当週実勢値予測	34.19	103.0	102.3	103.3	47.2	47.9	47.6	48.0	46.9
最近値	35.05	103.0	102.3	103.3	47.3	47.9	47.6	48.0	46.8

武蔵信一氏（元全国石油協会副会長、元北石連会長、元南空知地方石協理事長、武蔵商事会長・昭シェル系）

26日死去、86歳。告別式は29日に岩見沢市内で行われた。喪主は妻の久子さん。施主は長男で武蔵商事社長の輝彦氏。

ポンプあいらんど

▼乾電池で模型の車を走らせ遊んだ子どものころ。自動車はガソリンでエンジンを燃焼させないと動かないと思っていた。あれから数十年、まさかエンジンがなくても模型同様にモーター駆動の車の時代が迫って来ていようとは▼出張先で利用するビジネスホテルの敷地内に真新しいEV用充電装置2基が新設されているのに気付いた。客室数が百にも満たないのに「設備投資を急ぎ過ぎでは」と従業員に声を掛けると「近い将来への対応、早いことはない。利用はどんどん増えていきますよ」と自信満々の答えが返ってきた▼以来、注意して辺りを見渡すとEV充電ステーションはあるわあるわ。役所や道の駅、高速道路SAはもとよりコンビニ、スーパー、レストラン、病院、ゴルフ場、観光施設から寺の駐車場まで。いまや全国2万ヵ所以上を数えさらに増え続けているという。手軽に設置できるのでSS数を超えるのも時間の問題か▼EVへの急転換。ドイツは2030年、フランスも40年までにガソリン車の販売禁止を決定。スウェーデンのボルボは製造車100%電動化を表明した。FCVに力を入れる我が国メーカーもEV開発に本腰を入れて来るだろう。模型と同じモーター駆動の本格自動車？ガソリンを必要としない車社会？本当に？。猛暑でふらつく頭は混乱するばかりだ。

きょうの紙面

2面　関東・質の経営、旧盆がヤマ場
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報、CIF価格
3面　関東版・各地にコストコ続々/中部版・三重・松阪支部消防と協定
4面　四国版・天野支部長メッセージ／スポット市場・6月

TMC TOMINAGA MFG CO

Silkyline シルキーライン

ハイグレードなサービスステーションを演出。

AQUATECT

水検知機能搭載。油中に混入した水を高精度で検知し、
誤って車両に給油してしまうトラブルを未然に防止します。

シグナルランプ　※オプションとなります。

「待機中」「給油中」などの情報を光でお知らせ。SSのラッシュ時でもランプを確認することで
スムーズな誘導が可能です。

"燃料供給システム"の明日に取組む　http://www.kyoto-tmc.co.jp

株式会社富永製作所　〒604-8493 京都市中京区西ノ京南両町88　営業本部 ☎(075)801-8139代表 FAX(075)801-0717
仙台営業所 ☎(022)287-9311 FAX(022)287-9312　東京支店 ☎(03)3484-5051 FAX(03)3484-3944
名古屋支店 ☎(052)414-1181 FAX(052)414-1180　関西支店 ☎(0774)41-3443 FAX(0774)41-3444
広島支店 ☎(082)283-2428 FAX(082)283-2606　高松支店 ☎(087)843-7130 FAX(087)843-9139
福岡支店 ☎(092)651-3168 FAX(092)651-3118　事業所・代理店／全国主要39都市

質の経営、旧盆がヤマ場

関東　続く二極化　脆弱な〝安定市場〟

関東地方の石油製品市場は安定感を増しつつあるものの、地場SSの業者は一部地域の極端な安値に警戒感を強めている。これまでの減販から抜け出したいSSが拡販姿勢に舵を切ることが市場の不安定感をあおり、需要期の採算性が改めて問われる事態に陥る可能性が高まっている。

128円のガソリン価格を表示するSS（茨城県水戸市内）

関東各地のガソリン価格は安定市場でセルフSS128円中心、激戦地で120円以下の実売価格という二極化した状況が続く。128円以上の現金フリー価格を設定するSSの責任者は「ようやく安定して商売ができる確信が持てた。このまま夏商戦を終えたい」と本音を明かす。

だが、状況は油断できないとの見方をする業者も多い。北関東の大手地場業者はいまの業界について「かつてのようにどこかで安値が出ても他人事で済まされはしない。現実の市場は極端な安値がより広範囲に影響している」と指摘する。

需要期になると、さらに状況が悪化する傾向にあり、「安きに流れる傾向が加速する」と指摘する業者もいる。

採算重視のSSでは「旧盆期間がヤマ場になると思う。どこまで質の経営ができるかにかかっている」と話している。

コストコ和泉店が着工　大阪

コストコ和泉店のSS建設工事が始まっている

【和泉＝大阪】会員制倉庫型スーパー・コストコホールセールの和泉倉庫店（大阪府和泉市）がこのほど、SS設置に向けて工事を開始した。工事終了予定日は10月20日となっており、オープンは11月ごろになると推測される。

同社は5月下旬に店内でSS設置を告知。関西でのSS併設第1号店となることもあって大きな話題となった。周辺部には大手量販店やフリート、販社などがあるため、地場業者からは競争激化を懸念する声が上がっている。

多量配達灯油　0・12円下落　札幌市モニター

【札幌】札幌市消費生活課が25日に実施した石油製品小売価格調査の結果によると、ホームタンク向け多量配達灯油（200㍑程度以上）の平均価格は㍑73・59円で、10日調査から0・12円値下がりした。

調査店100店（うち取り扱い休止・なし20店）の最多価格は73円（20店）。最低は61円（1店）、最高は83円（1店）。

ガソリン（現金）はフルが131円で2円、セルフが129円で3円の値上がり。同じく軽油は114円、112円で各3円値上がりした。

8月にも官公需資格取得　『満タン運動』成功へ一丸　長野

【松本＝長野】長野石商・協（渡邉一正理事長）は25日、松本市内で理事会を開き、8月中旬に官公需適格組合の資格を取得する見込みであることを報告した。渡邉理事長（写真）は長野県との話し合いで官公需受注機会の拡大に向け要請したことを明らかにした。

同会では昨年度から県独自に展開している「灯油まつり」の継続開催を承認。今年度の取り組み概要を説明するとともに、多くの組合員参加を要請した。一方、『満タン&灯油プラス1缶運動』の推進に向け、県の記者クラブへプレスリリースを配布し、県民へ幅広いPRに取り組む。また、共同事業で今年度の各支部の目標を確認し、目標達成に向け積極的な利用を呼びかけた。

渡邉理事長は「県産業政策監兼産業労働部の土屋智則部長らと意見交換し、SS過疎地対策や官公需受注拡大、『満タン&灯油プラス1缶運動』などの協力を要請し理解を得た」としたうえで「9月から満タン運動がスタートする。全石連が作成したQ&Aなども有効に活用し、消費者の理解を得て成功させたい」と述べ、組合員の一層の結束を促した。

北石連　陸自供給訓練に協力

【札幌】北石連（伊藤豊会長）は、道経産局と陸上自衛隊北部方面隊が25～26日に実施した「災害時燃料供給支援訓練」に協力した。

訓練は札幌直下型地震の発生により、民間の輸送力だけではガソリン・灯油などの燃料を、札幌市内のSSや災害時重要施設に供給することが困難な場合を想定して実施。

北石連が協力したのは26日午後に行われた、札幌地方石協（河辺善一理事長）所属の中核SS、札幌河辺石油札幌インターSS（JXTG系）での受け入れ訓練。25日にJXTGエネルギー室蘭製造所でガソリンを受領した陸上自衛隊の燃料タンク車から、地下タンクにガソリンを受け入れた（写真）。

山梨　災害訓練ぜひ体験を

【甲府】山梨石商（西川一也理事長）は25日、甲府市内で支部長会を開き（写真）、「災害対応実施訓練」を10月15日に実施することを決め、県下中核SS関係者などに参加を求めた。また、『満タン&灯油プラス1缶運動』は9月1日から全組合員SSで実施することを確認した。

西川理事長は「災害対応訓練はいざという時、実際どのようにすればよいのかを訓練するもの。より多くの組合員が一緒に見学し体験することが大事。また、『満タン運動』は全SSが9月1日から一斉にスタートすることが前提」と述べ、組合員が一致団結していくことを促した。

災害対応実施訓練は同石商の今年度事業の柱の1つ。組合員SSが自然災害に対して効果的な活動を行えるよう、実効性のある研修を行うことを目的としている。訓練は10月15日午前9時から穴水城東SSで実施し、県下中核SSなどの関係者をほぼ、多くの組合員に参加を要請している。

⑩事故は、やるべきことをやらず、やってはいけないことをやるから起きる

SS事故を引き起こす様々な要因を考えてみよう

講師　佐藤　哲治　氏（ジャパンリスクソリューション主席コンサルタント）

「禁止行為」の明確化を

「やるべきこと」とは安全手順のことです。事前事後の確認や、適切な工具を使うなどです。例えば誤給油は確認を怠ることで発生し、しかも、それを注意力だけに頼って防ごうとすることが間違いです。「受注確認票」を使えば防ぐことができるのですから。

SS構内における移動接触事故は、シグナルなしで操車するから起きます。車を動かす時のルールを作り、それを守れば防ぐことができるはずです。ボルトの増し締め忘れは、作業結果の再確認あるいはダブルチェックをしないから起きます。

店長は気づいているのになぜそれができないのか？理由ははっきりしています。

「やるべきこと」をルール化すれば、そのことでスタッフの負担が大きくなる、多忙時に業務が回らなくなるとの危惧と、いままでのやり方をどのように変えたら良いのか、戸惑いがあるということだと思います。しかし、「無事故を祈る」だけでは現状を変えることはできないのですから、業務プロセスの改革に踏み切っていただきたいものです。

「やってはいけないこと」とは、禁じ手を行うことです。例えば、お客様に要請されて灯油ポリタンをトランクに積み込むことは禁じ手です。走行中にポリタンが転倒して車内が灯油まみれになります。

深夜にトラブル車両をうかつに預かるから放置されます。ロードサービスを紹介すれば済むことです。傾斜のある場所でウマをかけるからウマがはずれて車を損傷させます。車のエクステリアを大幅にカスタマイズした車を洗車するから、破損クレームに見舞われます。走行中のスタッフに電話をかけるから注意散漫になり、事故を起こします。

せめて、絶対にやってはいけないことは「禁止行為」として、明確化しておきたいものです。（連載終わり）

静岡　県と災害時対策検討

【静岡】静岡石商政策委員会（巻田達央委員長）は先ごろ今年度初の会合を開催し、中核SS・小口燃料配送拠点における災害対応ガイドラインの改正を報告した。

また、国土交通省中部地方整備局と同石商や建設業、建設機器レンタル業の団体などで取り組む災害復興に向けた道路啓開に関する検討項目を説明。さらに、県との間で緊急車両などへの優先給油に関する協定を結んでいるものの、包括的な災害時協定の締結に向け、危機管理部との情報交換を早急に進める必要があるとした。同石商では県に対し、群馬県や青森県での石油製品安定供給対策を紹介し、協定内容の参考として活用することとした。

巻田委員長（写真）は「現在、当委員会では県との災害時対策の検討などに取り組んでいるが、具体化には一定の時間が必要だ。また、独自に展開する災害時メール確認システムは登録件数が500件前後となっている」としたうえで、「官公需、災害時燃料供給、メールシステムの充実など様々な事項を担当していくので、ご協力をお願いしたい」と述べた。

室蘭バイオマス発電所建設を開始　JXTGエネ

JXTGエネルギーはこのほど、同社が9割を出資している室蘭バイオマス発電が安全祈願祭を執り行い、8月1日から発電所建設を着工すると発表した。

木質バイオマス専焼（パームヤシ殻）としては国内最大級となる7・49万KWの発電規模を有する。運転開始は2020年春の予定。

JXTGエネは現在、再生可能エネルギーのメガソーラー（17ヵ所、4・1万KW）や風力（2ヵ所、0・3万KW）発電を全国で展開しており、今後も総合エネルギー企業として持続的な社会の実現に貢献していく方針だ。

2地区から60人、納涼船で懇親　東京・都心支部

東京石商都心支部（橋本毅一支部長）の千代田中央地区（松本宏道地区長）・文京豊島地区（木本雅之地区長）は25日、合同地区会および納涼懇親会を開き、来賓を含めて総勢約60人が参集し（写真）、屋形船で交流を深めて英気を養った。

旧・千代田中央支部恒例の納涼船に旧・文京豊島支部が合流し、昨年に続く合同開催となった今回も多数の役員・SSマネージャーらが参加。隅田川を北上して東京スカイツリーを眺めた後、再び下ってお台場海浜公園付近に停泊、江戸前料理などを楽しみながら親睦を深めた。

冒頭あいさつで松本地区長は「旧・港新宿渋谷を含めた3支部が今春合併して都心支部となった。JXTG誕生、出光の新たな動きなどで元売再編が加速し、需給環境の改善がさらに進むと期待される。当支部管内では従来から極端な廉売事例は見られないが、しっかりとした商売を続け、楽しみを共有していこう」などと呼びかけた。また、橋本支部長は多数の参加者を得たことに謝意を示したうえで、「猛暑を追い風にしながら、良い商売の波に乗ろう」、阿部匡支部会計は「文京豊島は昨年合流させていただき、1年を経て同じ支部の仲間となった。我々は1つの船に乗っている仲間。皆で支部や地区を盛り上げていこう」とそれぞれ訴えた。

今週の指針

7月31日～8月6日　強運日＝4、5、6　吉方位＝東、南西

運命アドバイザー　北秀一

1月生	運気不安定だが好機はある。落ち着いて行動し結果吉。愛情強い。
2月生	情勢まずまずも前途明るい。自信持って行動せよ。金銭運は普通。
3月生	運気安定して見通し明るい。成り行きに任せて結果吉。愛情強い。
4月生	情勢に波あるが前途有望だ。あせらず冷静に行動。金銭運も普通。
5月生	運気まずまずで好機もある。冷静に行動して結果吉。愛情運普通。
6月生	情勢安定してチャンスある。積極的に行動し結果吉。金銭運強い。
7月生	好不調の波あり見通し暗い。軽率な行動は慎もう。愛情運は弱い。
8月生	運気まずまずも苦労しよう。軽率な行動は禁物だ。金銭運も弱い。
9月生	情勢落ち着かず苦労する。あせらず冷静に行動だ。愛情運も弱い。
10月生	運気不安定で落ち着かぬ。冷静な行動を心がけよ。金銭運は弱い。
11月生	情勢落ち着かず見通し暗い。軽率な行動は慎もう。愛情運も弱い。
12月生	運気まずまずも前途きびしい。冷静な行動を心がけよ。金運普通。

月生早見表

1月生＝1月5日～2月3日まで
2月生＝2月4日～3月4日まで
3月生＝3月5日～4月4日まで
4月生＝4月5日～5月4日まで
5月生＝5月5日～6月4日まで
6月生＝6月5日～7月6日まで
7月生＝7月7日～8月6日まで
8月生＝8月7日～9月6日まで
9月生＝9月7日～10月7日まで
10月生＝10月8日～11月6日まで
11月生＝11月7日～12月6日まで
12月生＝12月7日～1月4日まで

DATAコーナー

■石油先物市場・7／28
△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：￥／KL

東京商品取引所（京浜海上：1枚＝50KL）

16：30現在	前日比	限月	16：30現在	前日比
（前日出来高2,562枚）		ガソリン	（前日出来高6枚）	
49,520	Δ520	⑨限月	49,200	Δ200
49,280	Δ420	⑩限月	48,400	0
49,100	Δ300	⑪限月	47,100	0
48,990	Δ290	⑫限月	47,600	0
48,640	Δ110	①限月	47,600	0
48,590	Δ90	②限月	47,600	0
（前日出来高1,410枚）		灯油	（前日出来高-枚）	
47,890	Δ770	⑨限月	47,050	0
48,260	Δ930	⑩限月	48,000	0
49,000	Δ1,000	⑪限月	49,010	0
49,730	Δ1,150	⑫限月	48,610	0
49,610	Δ1,050	①限月	49,000	0
49,490	Δ1,010	②限月	49,000	0
（前日出来高-枚）		軽油		
48,000	0	⑨限月		
48,000	0	⑩限月		
48,000	0	⑪限月		
48,000	0	⑫限月		
48,000	0	①限月		
48,000	0	②限月		

中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20KL）

原油指標

			前日比
国内指標	$／B	49.35	(Δ0.28)
	￥／KL	34,787	(Δ253)
WTI	$／B	49.04	(Δ0.29)
	￥／KL	34,572	(Δ260)

■原油・石油製品輸出入CIF価格・6月（単位￥／㌔㍑）

	原油	揮発油	灯油	軽油	重油
輸入	36.41	36.45	43.28	42.98	39.84
前月比	▲1.42	▲1.52	▲1.34	▲3.91	▲2.03
輸出	—	46.60	41.67	42.24	33.51
前月比	—	▲3.67	▲1.17	▲1.28	▲1.55

関東

関東支局（千代田区永田町2-17-14 石油会館）03（3593）5757

関東各地 コストコ続々オープン

安値拡販伝播に募る危機感

関東地方にコストコSSが相次いでオープンすることが明らかになり、地元業者の戸惑いは頂点に達している。昨年12月に茨城県つくば市でコストコSSがオープンしたのに次いで、8月5日には静岡県浜松市、今秋にも千葉県印西市にSSをオープンすることが確定し、関東圏で3ヵ所のコストコSSが運営を開始する。地元業者からは「廉売が続けば供給元が自制すべき」との声も上がっている。

コストコSSが各地で猛威を振るう状況を聞き、千葉県の業者は秋以降の市場動向に不安を隠せない。「隣接地にはジョイフル本田の大型SSがある。そのほかPBSSも含め、いまも激戦地なのに、これ以上の安値拡販が続くことはまさに危機的状況」と打ち明ける。

コストコSSオープンを知らせる千葉ニュータウン店

同県の市場は現在、安定市場と激戦地が明確に分かれ、明暗のはっきりした経営環境に陥っていることから、「同じ県内とは思えない」という業者も現れている。地場業者は「好市況地域の業者もコストコがSSを運営を開始すれば、他人事ではいられなくなる。かつてのような陥没地域が限定されるのではなく、コストコの量販姿勢は広範囲に影響する」という。

一方、目前にオープンを控えた静岡県の業者も先行きへの不安は隠せない。「すでにコストコのオープンを見込み、市場がざわついているのは確か」とし、周辺SSの囲い込みともいえる集客が始まっていることを示唆している。

だが、昨年オープンしたつくば市の地場SSは「コストコに需要を奪われても安値で対抗はしない」と静観の姿勢をいまも続け、棲み分けができていることから、こうした地場業者の意識が必要との見方もある。

広域大手業者はコストコSS進出について「ある一定のニーズが奪われることは確かだが、問題はその価格に追従し、市場全体を陥没させてしまう業界の悪癖にもある。また、安値を容認するような仕入れ元の存在も問われるべき」と指摘している。

管内経済は緩やかに改善

7月・経済動向

関東経済産業局はこのほど、7月の経済動向をまとめた。5月指標を中心にまとめられた報告では「管内経済は、緩やかに改善している」と判断された。

概要では、生産活動は輸送機械工業をはじめ10業種で低下したことから2ヵ月ぶりの低下となった。

個人消費は乗用車新規登録台数が7ヵ月連続で前年を上回ったほか、コンビニエンスストア販売額が51ヵ月連続で前年同月を上回った。百貨店・スーパー販売額は2ヵ月ぶりに前年同月を下回った。

また、雇用情勢は有効求人倍率が高い水準を維持するなど、総じてみると管内経済は緩やかに改善している。

今後については、国際情勢や金融市場の動向が国内経済に与える影響について留意する必要があると指摘している。

JXTG誕生から4ヵ月 フリートも評価

販売姿勢改善で収益向上へ

JXTG誕生から4ヵ月。市場への影響について広域展開するフリート業者も「評価する」との声を上げ始めている。

関東地方の広域フリート業者SS担当は「正直にいって今年の第1四半期（4－6月）は収益が上がっている。理由は口銭獲得がうまくいったから」と明かす。その理由については「JXTGが販社の販売姿勢を完全に採算重視にしているからだろう」と述べる。

別のフリート業者も「市場が改善している。明らかに自社SSの収益性も改善している」と話す。理由についても「これまで競合してきた販社SSが収益第一の販売姿勢を明確にしているため」と話しており、JXTGの合併効果を評価している。

一方、自社のインタンク取引には「これまでのような融通は利かないのは確か。仕切りは高くなり、枠も厳しい」とし、SSでの収益向上に逆行する現象が起きていることを指摘する。それでも「SSで安定して商売ができるのは大きい。それが続くほうが良い」とも話しており、JXTG効果には評価は高まっている。

静岡 田方支部が災害時訓練実施

店頭混乱回避重点に

静岡石商田方支部（増井達也支部長）は先ごろ、伊豆の国市で「災害時の連絡訓練」として、災害時対応の接客研修会とともに、災害時のSS被害状況の確認訓練を行った。

研修会では、同支部の石渡延人監事（写真）が講師を務めた。

災害時対応接客研修会は全石連が作成した「SSにおける災害時対応訓練の手引き」を活用し、店頭混乱回避訓練に重点的を置き解説した。

また、支部の全SSに対して、①電気の通信状況②給油の可否③スタッフの安否などの確認を支部ブロックごとに実施した。

石渡監事は「県の組合では、独自に災害時メール確認システムを展開している。しかし、迅速に支部SSの被害状況を確認することも必要である」と述べた。

茨城・関彰商事 夏のキッズアート体験開催

関彰商事（本社・筑西市、つくば市、関正樹社長・JXTG系）は8月5～6日に、つくば本社敷地隣接地のスタジオ'Sで夏休み特別企画「夏のキッズアート体験」を開催する。これは同社が筑波大学芸術活動連携支援「スタジオ'S with T」の一環で行うもので、同大学芸術系学生と児童の夏休み宿題応援、デザインペーパークラフト、木のブローチ作りなどが企画されている。

開催は8月5～6日、時間は午前10時から午後3時まで。小学生以上の参加。参加費は500円（保険代含む）。定員は50人。申し込み方法は以下の通り。

申し込み方法　info@sekisho.co.jpへ件名「キッズアート体験申し込み」として①参加希望日②参加者氏名③年齢④保護者氏名⑤連絡先⑥宿題応援の申し込みの有無を明記。

中部

中部支局（名古屋市中区正木3-2-10 愛知県石油会館）052（321）6001

松阪地区 消防組合と災害協定

三重石商松阪支部

三重石商（亀井喜久雄理事長）の松阪支部（小津邦義支部長、小貞石油社長・JXTG系）と松阪地区広域消防組合消防本部（三木淳消防長）との災害時協定調印式が、このほど同本部で行われた。南海トラフによる大地震などに備えるだけでなく、県内で同本部に1台しか配備されていない軽油タンク搭載の燃料補給車などが他県の被災地にも常に出動できるよう態勢を整える協定となった。消防当局との災害時協定締結は、同県内では初めて。

松阪消防本部で行われた調印式（右から）小津支部長、三木消防長、山本副支部長

「緊急援助隊」の出動バックアップ

調印式には、組合側から小津支部長、山本博治副支部長（山本石油社長・JXTG系）、県石商の中村直人事務局長が、消防本部からは三木消防長、笹井恒久次長、牧野正雄警防課長らが出席。「大規模災害時における燃料の優先供給に関する協定書」の内容が説明された後、小津支部長と三木消防長が署名捺印した。

同本部では、燃料補給車だけでなく被災地等で力を発揮するトイレ付大型支援車などを装備する「緊急消防援助隊」を編成しており、常時出動態勢に向けて、地元石油組合との協定締結を要望。組合側も支部会議などで協定締結を確認し、この日の調印となった。

三木消防長は「大規模災害など有事の際に、消防活動遂行に欠かせない燃料供給の協定を結ぶことができた。東日本大震災で支援活動した緊急援助隊を中心に管内や県内外への出動、さらにはこの地域が被災した場合に全国から駆け付けて来る消防部隊への燃料供給など、重要な協定を結ぶことができ、組合の皆さんにお礼を申し上げる」とあいさつ。

これに対し、小津支部長は、「地域で生まれ育ったSS業者として、地元への感謝の気持ちは常に抱いている。住民のために活躍されている消防本部のお役に立つことができた。今後は万が一の災害に備えて、消防当局と連携して細部を詰めたり、具体的な研修を重ねていきたい」と話していた。

岐阜 全員で『満タン運動』

岐阜石商・協（澤田栄理事長）が先ごろ石油会館で開いた理事会で、澤田理事長（写真）は、伊勢志摩で開催されたSSビジネス見本市に県内から百人を超す組合員が見学したことに感謝の意を示した後、「9月にスタートする『満タン&灯油プラス1缶運動』に591の全SSが積極的に参加するとともに、変革期の中で岐阜石商組合員が業界改革の先頭に立てるよう頑張っていこう」とあいさつした。

会議では、各委員会ごとに今年度に取り組む主な事業内容の確認や、補助事業、HV対応など今後の研修計画、『満タン運動』のノボリなどの配布時期などが説明され、全案件が了承された。理事会後、オートサーバーやホームネットカーズの担当者が中古車販売事業のメリットや注意事項などについて説明会を行った。

福井 未来に繋がる商売を

福井石商・協（井田浩志理事長）の役員会がこのほど県石油会館で開かれ、井田理事長の呼びかけで9月に迫った『満タン&灯油プラス1缶運動』に全SS挙げて取り組んでいくことを確認した。

井田理事長（写真）は「JXTGが発足してから4ヵ月、7月からは新たな仕切りがスタートするなど大きな動きの中にあるが、本当の意味でどのように変化していくのかしっかり見守っていかなくてはならない。ますます需要減が進むと思われるが、これを奪い合うのでなく未来につながる商売にしていくことが大事」とあいさつ。

そのうえで「今年度の中心的事業は全国的に取り組む満タン運動。全組合員の209SSが運動初日の9月1日から参加し、ノボリやポスター掲出、ステッカーのローリー張り出しなど、各支部ごとに積極的に展開してほしい」と述べた。会議では、全石連の共同事業への取り組みを引き続き強化し、今年度も全種目で目標達成を目指すことや、地元国立大学への官公需の具体的な働きかけ、各支部からの現状報告などが行われた。

石川石商金沢支部 〝白山登山〟30回に

富士山、立山と並ぶ日本3名山の一つ・白山（標高2702㍍）に上ってSS従業員らの親睦を図る石川石商金沢支部（中西義浩支部長）の「白山登山」がこのほど行われ、白山開山1300年の記念の年とあって、支部はもとより北海道、東京、愛知など元売社員も含め県内外から過去最高72人参加の〝大登山隊〟となった。

大型バスで早朝、登山道入口の別当出合に集合した参加者を前に、中西支部長は「貸切バスを利用してのこの登山は19回目だが、それ以前に思い思いに集まって登っていた時期から数えると、ちょうど30回目の白山登山。支部の枠を超える大きな行事となってきたが、親睦を深める登山として楽しんでほしい」とあいさつ。参加者は安全登山の心得や注意事項の説明を受け、記念写真（写真）に収まった後、楽しみながら頂上を目指した。後半あいにくの雨に降られたが、午後5時30分過ぎまでに全員が無事下山し、大成功の恒例登山となった。

新副理事長に林直樹氏就任

福井石商・協の新副理事長に越前市の林直樹氏（林石油店社長・JXTG系）がこのほど就任した。河嶋衛氏（河嶋連蔵商店社長・出光系）の後任人事。林副理事長は河嶋氏同様に越前支部長も兼務する。

痛んだ床も簡単に補修！
SSドライブウェイ簡易補修セット
施工は日曜大工感覚、翌日には通行可能。
●ボンド製品だから
ひび割れ部分・水溜まり部分・欠損部分・アイランド部分の補修が簡単

①下地をきれいにする。（注）下地は水洗いしないでください。
②混合液を作る。
③混合液を塗る。（注）塗る量は1セット当たり150～250gまでとする。（全部使い切らないで下さい）
④混合液と骨材を混ぜる。
⑤補修面にコテで押さえて仕上げる。

必要な材料の目安		
塗り厚	10㎜厚	5㎜厚
施工面積（1㎡当たり）	4セット	2セット

梱包容量（1ケース）	色調
梱包数：4セット入り	グレー

1セット　4.625kg
●樹脂［A主剤 500g…液体／B硬化剤 250g…液体］
●C難燃材 125g…粉体
●D骨材 3750g…粉体

組合員特別価格 1～9ケース19,520円
組合員特別価格 10ケース以上18,520円
製造元：コニシ株式会社ボンド建設部
◎お問い合せは最寄りの石油組合または
全国石油業共済協同組合連合会
TEL.03（3593）5841

洗車タオル
大量使いにうれしいお買得価格!!

人気No.1 手のひらサイズR型
●丈夫で長持ち
●吸水性UP
600枚以上1枚あたり（税別、送料込）
¥87
サイズ:約34cm×48cm 重さ:180匁（約56g）
カラー:白・青・ピンク・黄色 素材:綿100%

超極細繊維のマイクロファイバー素材 マイクロファイバー
●抜群の吸水性 ●すぐれた耐久性
●クルマにキズがつきにくい
600枚以上1枚あたり（税別、送料込）
※但し、沖縄・離島は送料別途
¥91
サイズ:約30cm×48cm 重さ:約38g カラー:白・青・ピンク・黄色
素材:ポリエステル80%・ナイロン20%

高級マイクロファイバータオル
●ワックスやコーティング仕上げに最適
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）
¥120
サイズ:約40cm×40cm カラー:白・青・赤・黄色
重さ:約61g 素材:ポリエステル80%・ナイロン20%
※60枚以上、10枚単位で受注可能
※60枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）

マイクロファイバースクエア
●このボリューム感で低価格！
●汚れが目立ちにくい鮮やかな色合い
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）
¥88
サイズ:約40cm×40cm カラー:青・赤・黄・緑色
重さ:約50g 素材:ポリエステル80%・ナイロン20%
※ご注文は200枚以上、100枚単位
※200枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）

110匁タオル（グリーン）
●車内拭きに適したサイズ
●毛羽が出にくい
300枚以上 1枚あたり（税別、送料込）
¥58
サイズ:約33cm×40cm 重さ:110匁（約34g）
カラー:グリーンのみ 素材:綿100%
※ご注文は100枚以上、100枚単位
※300枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）

手のひらサイズ200匁
●手触りバツグンのボリューム感
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）
¥88
サイズ:約34cm×48cm 重さ:200匁（約62g）
カラー:白・青・ピンク・黄・緑色 素材:綿100%

手のひらサイズ140匁
●女性でも絞りやすい
●洗車、窓拭きに最適
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）
※但し、離島は送料別途
¥70
サイズ:約34cm×43cm 重さ:140匁（約44g）
カラー:白・青・ピンク色 素材:綿100%

※ご注文単位は1色60枚。180枚以上ご注文の場合、送料無料（高級マイクロ・スクエア・110匁は除く）。

タオル用液体洗剤 18ℓポリ容器 税別・送料込 但し沖縄離島は別途
タオルクリーンSS ¥6,850

サンプルご希望の方や商品の詳細についてのお問い合わせは、
最寄りの組合または全国石油業共済協同組合連合会へ 03-3593-5841

四国

中国支局（広島市南区的場町1-7-20 広島県石油会館2階）
082（264）6623

天野博司四国支部長メッセージ

英知を結集して4つの課題克服へ

全石連四国支部の天野博司支部長は先ごろ徳島市内で開いた支部会で、人手不足、次世代車の普及など石油販売業界の直面している4つの課題について指摘。これらの解消へ向け、さらなる英知結集の必要性を呼びかけた。

1つ目のポイントとして「JXTG誕生後、業転と系列の仕切り格差が縮小していることから徐々に廉売店と一般店の販売格差は縮小し、マージンも改善してくるのではないかと思う。これからのSSの販売政策はSSの規模、接客、綺麗さ、人間関係になってくるのではないか」との考えを示した。

2つ目は「人手不足が徐々に深刻化してきた。特にフルサービスのSSが大変な状況になっている。このままでは人手不足によるセルフ化はますます進むだろう。四国地区は大学の少ない地域もあり、より採用難となっている。今後は外国人の採用を視野に入れ、SSでも外国人が仕事をできるよう法改正を行い、石油連盟や全石連がベトナム、インドネシア等の現地に教育施設を建設し、日本で働くことができるよう日本語会話、挨拶、接客、整備などの教育を行い、日本のSSで勤務してもらう。こうした取り組みは他の業種では非常に活発になっており、新しい人材確保の手段として今後検討してみてはどうか」と提案した。

4つのポイントを指摘する天野支部長

3つ目としては、「フランスが2040年までにガソリン車・ディーゼル車の販売を廃止するという方針を打ち出し、ボルボ社はガソリン車・ディーゼル車からの撤退を表明した。地球環境への配慮から社会の潮流は確実に電気自動車に向かっていることもあり、今後の石油販売業者はどう取り組んでいけばいいのかと疑問を投げかけた。

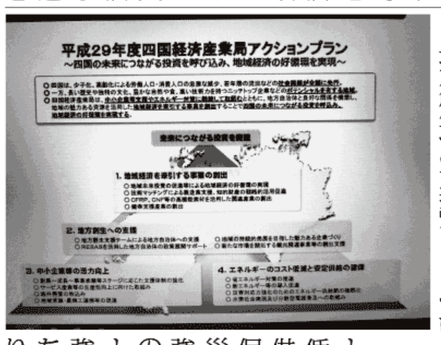
4つ目のポイントとしては「四国地区の青年部交流会で、将来の業界をどのように考え変革していくかについて積極的に意見を出し合い将来に備えてもらいたい」と青年部会に積極的な活動を要望するとともに、「全国でも青年部会の活動が活発化している。大きく変わろうとしている時代に遅れることなく対応するため、青年部交流会が新しい時代に向け、若い人たちが意見を出し合える場となることを期待している」と述べた。

エネ供給網強靭化へ

17年度行動計画 災害対応力を強化

四国経産局

四国経産局（長濱裕二局長）は先ごろ2017年度アクションプラン（写真）を取りまとめた。四国地域は、少子化、高齢化による労働人口・消費人口の急激な減少、若年層の流出などの社会課題が先行している一方、長い歴史や独特の文化、豊かな自然や食、高い技術力を持つニッチトップ企業などのポテンシャルを有する地域でもある。同経産局は、中小企業等支援やエネルギー対策に継続して取り組むとともに、地域の魅力ある資源を活用した地域経済を牽引する事業を創出することで四国の未来につながる投資を呼び込み、地域経済の好循環を実現するため、地方自治体や関係機関と連携しつつ、取り組みを推進していくことを目的としている。



同アクションプランは4つの戦略分野から構成されており、このうちの「地域を牽引する事業の創出」では、成長性の高い分野における地域経済を牽引する取り組み（地域未来投資）の支援と新たなビジネスモデルの創出を支援するIOT等導入の促進により地域経済の好循環の実現を目指す。

「地方創生への支援」では、社会的課題に挑戦し、魅力ある地域資源を活用して四国に新たな収益機会を創出するため、「地方創生支援チーム」を通じて地方自治体と良好な関係を構築し、RESAS等を活用して地方創生を支援するとしている。

また、「中小企業等の活力の向上」では地方の経済活力や雇用確保の担い手である中小企業の創業から成長そして事業承継等の各ステージに応じた支援体制を構築・強化することとしている。

さらに、「エネルギーのコスト低減と安定供給の確保」では、災害対応力強化のためのエネルギー供給網の強靭化を打ち出しており、南海トラフ巨大地震の発生が想定されていることから、災害時における緊急車両や避難所等の重要施設に的確に燃料供給を行うため、災害対応型施設の整備、備蓄促進を支援するとともに、災害時燃料供給訓練等で自衛隊および自治体等との連携強化を図るとしている。

また、四国地域への未来投資が活発になり、地域経済が好循環することを実現するため、基盤となるエネルギーコストを低減させるとともに、高品質のエネルギーの安定供給の確保に取り組む。特に省エネルギー対策の推進、新エネルギー等の導入促進、水素エネルギー導入支援および分散型電源普及への取り組みを行う。

6月末保有台数 70ヵ月連続で増加

四国運輸局がまとめた6月末現在の管内自動車保有台数は、登録車が146万1980台（対前年同月比0・4%増）、軽自動車が153万6326台（同0・4%増）、合計が299万8306台（同0・40%増）となり、管内の保有台数は対前年同月比で70ヵ月連続の増加となった。

また、同管内での新車販売状況は登録自動車が8125台（対前年同月比14・6%増）、軽自動車が6705台（同17・4%増）、合計で1万4830台（同15・8%増）となり、登録自動車は16ヵ月連続で増加。軽自動車は3ヵ月連続の増加、全体としては8ヵ月連続の増加となった。

車種別の販売状況では登録車では普通貨物車が316台（同10・5%増）、小型貨物車が5880台（同17・6%増）、普通乗用車が3530台（同11・9%増）、小型乗用車が3462台（同16・4%増）、軽自動車では軽貨物車が1819台（同6・3%増）、軽乗用車が4860台（同22・3%増）となり、普通貨物車は3ヵ月ぶりの増、小型貨物車は2ヵ月連続の増、普通乗用車は21ヵ月連続の増、小型乗用車は8ヵ月連続の増、登録車全体では14・6%の増加となった。また、軽貨物は3ヵ月連続の増、軽乗用車は3ヵ月連続の増で、軽自動車全体では17・4%の増加となった。

一部に弱さも持ち直しの動き

5月・経済動向

四国経産局が取りまとめた5月分の四国地域の経済動向によると、四国地域の経済は、一部に弱い動きがあるものの緩やかな持ち直しの動きが見られるとした。生産では鉱工業生産は弱含みで推移。個人消費は持ち直しの動き、住宅投資も新設住宅着工は持ち直しの動きとなっている。また、雇用情勢は改善しており、企業倒産は落ち着いた動きが見られる。公共事業については増加の動きに一服感が見られるとした。

OIL SPOT Market ZENSEKI

スポット市場6月 T・ウインドウ成約440キロリットル

透明で且つ公平・公正な価格指標が重要になっている。東京商品取引所が1月に公設・石油スポット市場TOCOMウインドウ、続いて、5月に石油スワップ先物市場を上場し価格指標の発信機能を拡充させ注目が集まる。TOCOMウインドウの6月実績などとともに、ギンガエナジージャパン国内石油製品デスク担当の奈良麻理子アシスタントマネージャーによる市場解説を掲載する。

全油種累計で前月比増加へ

JOX6月実績

東京商品取引所の公設スポット市場TOCOMウインドウにおける6月成約実績をまとめた。それによると、陸上取引の累計数量は前月比596キロリットル減の440キロリットル（内訳：ガソリン420キロリットル、灯油20キロリットル）となり減少した。海上は前月比3100キロリットル増の累計9000キロリットル（同：ガソリン5500キロリットル、灯油8500キロリットル）となった。

さらに成約価格などを根拠に毎日提示されるTOCOMウインドウ価格の6月平均価格は陸上ガソリンが103円（前月比1円高）、海上ガソリンが104・1円（1・9円高）と値上がりした。

一方、JOXの6月実績は、成約数量が全油種累計で前月比3万7350キロリットル増、前年比15万7976キロリットル減の7万3740キロリットルとなった。ガソリン海上・京浜が前月比1320キロリットル増、前年比4万4800キロリットル減の2万9200キロリットル。前年比では取引が低調だったが、前月比では増加した。JOXのガソリン京浜・6月平均価格は前月比0・6円高の104・5円だった。

市場解説

精製粗利は引き続き維持 元売卸価格の水準注視

7月の注目は、民族系最大手元売の基準卸価格だった。6月末の卸改定の発表では値下げとなったものの、インタンク向けが1リットル3・3円、SS向けは104・8円となり、実質の値上げとなってのスタートだった。外資系元売はその発表前にガソリンをスライド、他の油種を1円値下げとし、最初の週については外資系のウィークリー玉を中心に取り引きが行われた。

月初の発表とその翌週の発表において、外資系元売と民族系最大手元売がともに卸の値上げ改定を行い、上旬の原油下落時においてもスライドとしたことから、精製マージン（クラック）は前月に引き続き強いままとなった。月間を対象とした市場連動玉の数量も限定的となり、スポット市場での売買については取り引きされる価格帯の幅が狭まった。

三連休を前に量に限りのある市場連動玉を売り込もうとする動きが見えたものの、系列回帰と販売不振により、枠の消化については20日前後まで継続した。ただ、卸値が大きく崩れることはなく、基準卸価格が意識された水準での売り買いが見られた。

東京商品取引所の8月限はバージガソリンで48・04円（ガソリン税込み101・84円）、中京ローリーガソリンは48・07円（101・87円）で納会を迎えた。足元の基準値よりも安く納会したのは二次基地での出荷も含まれていることが考えられる。

バージにおいては受渡高が4万3500キロリットルと前月比で1万4100キロリットル増えている。製油所玉は絞られていることから、輸入玉の影響と見られる。しかしながら来月のスポットも今月と同様に二次基地のコスト自体は下がったとしてもスポット市況を形成するのは製油所玉の価格となるであろう。

成約日時	商品	場所	価格(円/キロリットル)	価格(円/キロリットル)※ガソリン税込	数量[kl]
陸上取引					
6月2日	[ノンスタンダード陸上]ガソリン	中川物産櫻島	49,400	103.2	20
6月2日	[陸上]ガソリン横浜・川崎製油所	TG川崎EMG	50,300	104.1	20
6月6日	[陸上]ガソリン横浜・川崎製油所	TG川崎EMG	49,800	103.6	20
6月8日	[ノンスタンダード陸上]ガソリン	苫小牧	49,300	103.1	10
6月8日	[ノンスタンダード陸上]ガソリン	苫小牧	49,500	103.3	10
6月8日	[ノンスタンダード陸上]灯油	丸中名古屋9号地	45,500	-	10
6月9日	[ノンスタンダード陸上]ガソリン	苫小牧	49,100	102.9	10
6月9日	[ノンスタンダード陸上]ガソリン	苫小牧	49,050	102.9	10
6月13日	[ノンスタンダード陸上]ガソリン	苫小牧	49,000	102.8	50
6月13日	[陸上]ガソリン横浜・川崎製油所	TG川崎EMG	49,000	102.8	20
6月14日	[ノンスタンダード陸上]ガソリン	苫小牧	48,900	102.7	10
6月15日	[陸上]ガソリン横浜・川崎製油所	水江Shell	48,500	102.3	50
6月19日	[陸上]ガソリン横浜・川崎製油所	TG川崎EMG	48,400	102.2	20
6月19日	[陸上]ガソリン横浜・川崎製油所	TG川崎EMG	48,500	102.3	20
6月20日	[ノンスタンダード陸上]ガソリン	中川物産櫻島	47,700	101.5	20
6月21日	[ノンスタンダード陸上]ガソリン	苫小牧	48,200	102.0	50
6月21日	[ノンスタンダード陸上]ガソリン	苫小牧	48,000	101.8	10
6月22日	[ノンスタンダード陸上]灯油	丸中名古屋9号地	45,000	-	10
6月22日	[陸上]ガソリン横浜・川崎製油所	TG川崎EMG	48,900	102.7	20
6月23日	[ノンスタンダード陸上]ガソリン	苫小牧	48,600	102.4	10
6月28日	[陸上]ガソリン横浜・川崎製油所	TG川崎EMG	49,200	103.0	20
6月30日	[ノンスタンダード陸上]ガソリン	苫小牧	50,000	103.8	20
海上取引					
6月1日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	44,500	-	200
6月1日	[海上]ガソリン京浜(TOCOM指定二次基地)		50,500	104.3	500
6月2日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	44,400	-	200
6月2日	[海上]灯油京浜(ref)		44,700	-	200
6月5日	[海上]灯油京浜(ref)		44,500	-	200
6月5日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	44,000	-	200
6月5日	[海上]灯油京浜(ref)		45,000	-	200
6月5日	[海上]灯油京浜(ref)		44,500	-	200
6月6日	[海上]灯油京浜(ref)		44,000	-	200
6月6日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	43,300	-	200

成約日時	商品	場所	価格(円/キロリットル)	価格(円/キロリットル)※ガソリン税込	数量[kl]
海上取引					
6月6日	[海上]灯油京浜(ref)		43,500	-	200
6月6日	[海上]灯油京浜(ref)		44,500	-	200
6月7日	[海上]灯油京浜(ref)		43,600	-	200
6月7日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	43,300	-	200
6月8日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	42,600	-	200
6月8日	[海上]灯油京浜(ref)		43,100	-	200
6月9日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	42,500	-	200
6月9日	[海上]灯油京浜(ref)		43,000	-	200
6月12日	[海上]灯油京浜(ref)		43,500	-	200
6月12日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	42,900	-	200
6月13日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	43,300	-	200
6月14日	[海上]灯油京浜(ref)		43,900	-	200
6月14日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	43,300	-	200
6月15日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	42,500	-	200
6月15日	[海上]灯油京浜(ref)		43,100	-	200
6月15日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	42,500	-	200
6月15日	[海上]灯油京浜(ref)		43,100	-	200
6月16日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	43,000	-	200
6月16日	[海上]灯油京浜(ref)		43,500	-	200
6月19日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	43,000	-	200
6月19日	[海上]灯油京浜(ref)		43,600	-	200
6月20日	[海上]灯油京浜(ref)		44,000	-	300
6月20日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	43,200	-	200
6月21日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	42,500	-	200
6月21日	[海上]灯油京浜(ref)		43,200	-	200
6月22日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	42,500	-	200
6月22日	[海上]灯油京浜(ref)		42,700	-	200
6月23日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	42,500	-	200
6月23日	[海上]灯油京浜(ref)		42,800	-	200
6月26日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	42,900	-	200
6月28日	[海上]灯油京浜(ref)		44,650	-	200
6月28日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	43,600	-	200
6月29日	[海上]灯油大西(ref)	kikuma	44,000	-	200

JOX取引実績

			月間総取引量(キロリットル)	前月比	月間平均価格(円/キロリットル)	前月比
6月	ガソリン	京浜	29,200	13,200	50.7	0.6
		千葉	2,460	12	48.9	0.3
		川崎	7,280	3,080	49.1	0.7
		大西	9,000	5,400	50.5	2.1
	灯油	京浜	13,600	9,600	44.8	▲1.1
		大西	3,000	400	43.9	▲3.8
	軽油	京浜	6,000	-	RIMリンク	-
	A重油	京浜	400	-	RIMリンク	-
	HSC重油	京浜	2,000	-	45.4	-
		阪神	800	-	45.4	-

TOCOMウインドウ価格　系列仕切り換算（ブランド料3円＋運賃1.5円の場合）　108.3

	陸上4製油所平均						海上京浜				
	ガソリン	G税込	灯油	未課税軽油	A重油	LSA重油	ガソリン	G税込	灯油	A重油	LSA重油
1月平均	48,120	101.9	52,760	—	47,490	47,780	49,170	103.0	51,000	49,000	49,300
2月平均	48,780	102.6	50,700	49,000	48,310	48,690	49,910	103.7	51,460	—	47,680
3月平均	53,520	107.3	50,100	51,930	49,930	50,200	53,440	107.2	50,010	—	46,900
4月平均	51,590	105.4	49,480	51,950	49,940	50,190	48,870	102.7	45,630	—	46,900
5月平均	48,170	102.0	47,330	49,500	48,760	48,820	48,410	102.2	45,460	48,500	47,900
6月平均	49,210	103.0	45,580	49,460	47,250	47,730	50,280	104.1	44,190	48,500	47,460
7月平均	50,020	103.8	46,860	48,560	47,090	47,590	49,630	103.4	46,270	48,200	48,700

原油・石油スワップ取　最終決済価格

	原油	ガソリン				灯油				軽油			
	ブラッツドバイ(キロリットル)	バージ(キロリットル)	ガソリン税込み(円/キロリットル)	ローリー(キロリットル)	ガソリン税込み(円/キロリットル)	ブラッツバージ(キロリットル)	(円/キロリットル)	ブラッツローリー(キロリットル)	(円/キロリットル)	ブラッツバージ(キロリットル)	軽油引取税込み(円/キロリットル)	ブラッツローリー(キロリットル)	軽油引取税込み(円/キロリットル)
5月	35,680	48,410	102.2	48,170	102.0	46,150	46.2	47,270	47.3	48,700	80.8	49,070	81.2
6月	32,420	50,280	104.1	49,210	103.0	44,290	44.3	45,040	45.0	47,210	79.3	47,320	79.4

当社は、計量機検定／修理・地下タンク漏えい検査・地下タンク老朽化対策工事・各種施工等、充実のサービスで給油所運営をサポートいたします。

無料お見積り・お問い合わせは
0120-016-889

◆ホームページ　http://www.nssk.co.jp/
◆楽天市場店　http://www.rakuten.co.jp/auc-nssk/
日本スタンドサービス　検索

◆自社計量機販売　◆給油機器販売　◆計量機検定　◆計量機修理
◆中古計量機買取・販売　◆中古部品販売　◆地下タンク漏えい検査
◆移動タンク漏えい検査　◆高精度油面計　◆電気防食システム工事
◆給油所新設工事　◆給油所廃止工事　他　お気軽にご相談ください。

日本スタンドサービス株式会社
大阪本社　〒578-0911 大阪府東大阪市中新開2丁目11-17　TEL.072-968-2211　FAX.072-968-3900
東京営業所　〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2丁目21-6　TEL.03-5721-4789　FAX.03-5721-4787